

御 挨拶

北海道土木技術会 会長 川村 和幸



北海道土木技術会の会員の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

土木技術会会長職2年目、第44号の会報の発刊にあたり、前年度のように単なる就任の挨拶で済ませるわけには行かない。そこで土木技術会西本幹事長が過去数年分の会報をメールに添付してくれたのをヒントに、10年分遡って調べてみました。過去に本会の会長を務められた方々は、様々な視点から寄稿しており、流石だなと感じた次第です。拙文を書くのに汲々としている私との違いを痛感させられています。

遡って感じたのは、近年の4号の内、実に3号までが災害に言及していることです（私の昨年分を含めて）。東日本大震災、熊本地震そして平成28年8月の北海道における台風による豪雨災害です。この6月には大阪北部において震度6弱の地震が発生しました。社会が成熟化し、インフラ整備が着実に進められ、多くのと言うより膨大な情報が入手可能な現代において、こうした災害からの決別はまだまだ先、というより先が見えないと感じるのは私だけでしょうか？

ところで昨年（平成29年）9月中旬の台風18号の大雨災害現場に遭遇するという経験をしました。18日に台風が胆振西部に上陸し、一般国道36号の白老町竹浦橋の路面沈下（橋脚沈下）で通行止めになった事案です。前日から白老町竹浦に滞在しており、17日から18日にかけて結構雨が強いなどか感じつつ、TVのニュースで白老町内の路面冠水が報じられるのを見ていました。白老町には、森野などという北海道内でも有数の多雨ポイントがあり、少々の雨ではビクともしないと勝手に思い込んでいました（隣の登別市カルルスでは、降雨量316mm）。しかし昼過ぎに札幌に帰ろうとして、国道の通行止めにジャストタイムで遭遇してしまいました。う回路の町道を通りながら、増水した敷生川を横目で見、自然の猛威を実感しました。町道は、多くの車両により渋滞していましたが、道路管理者の手配による警備員の誘導など交通の確保に向けて懸命の努力が為されていました。頼もしく感じた次第です。その後、何回か白老を訪ねる機会がありましたが、ネクスコ東日本による道央道代替路（無料）措置（登別東IC～白老IC）を体験し、早期の仮橋設置に向けての関係者の懸命の作業状況などを遠目からではあるが見させて頂きました。

もしかしたら北海道土木技術会の会員の何人かは、復旧実務、災害原因の調査・解明など様々な立場から関わっていたかもしれません。インフラの重要性、土木技術の更なる進歩の必要性を感じた次第です。

こうした体験を踏まえ、本会の各委員会の活動が益々活性化し、少しでもインフラの安全性、質的向上に貢献することを祈念してご挨拶とさせていただきます。

本 部 の 活 動 報 告

平成30年度の役員会が下記のとおり開催され、平成29年度の本部及び各研究委員会の活動報告並びに平成30年度の事業計画及び予算などが審議された。

日 時：平成30年6月28日（木）11：00～13：00

会 場：ホテル札幌ガーデンパレス

出席者：会 長	川 村 和 幸	荒井建設（株）
副 会 長	上 田 多 門	北海道大学大学院
副 会 長	柳 原 優 登	土木研究所寒地土木研究所
鋼道路橋研究委員会委員長	松 本 高 志	北海道大学大学院
コンクリート研究委員会委員長	杉 山 隆 文	北海道大学大学院
舗装研究委員会委員長	亀 山 修 一	北海道科学大学
トンネル研究委員会委員長	藤 井 義 明	北海道大学大学院
道路研究委員会委員長	萩 原 亨	北海道大学大学院
土質基礎研究委員会委員長	石 川 達 也	北海道大学大学院
建設マネジメント研究委員会委員長	高 野 伸 栄	北海道大学大学院
幹 事 長	西 本 聡	土木研究所寒地土木研究所
幹 事（鋼道路橋）	加 藤 静 雄	（株）ドーコン
（コンクリート）	工 藤 浩 史	（株）ドーコン
（舗 装）	丸 山 記 美 雄	土木研究所寒地土木研究所
（ト ン ネ ル）（代理）	荒 木 雅 紀	（株）ドーコン
（道 路）	佐 藤 昌 哉	土木研究所寒地土木研究所
（土 質 基 礎）	畠 山 乃	土木研究所寒地土木研究所
（建設マネジメント）	倉 内 公 嘉	北海道開発局
会 計 監 査（舗 装）	長 屋 弘 司	道路工業（株）

1. 平成29年度事業報告および決算

(1) 役員会および幹事会の開催

1) 役員会：平成29年6月29日（木） ホテル札幌ガーデンパレスで開催

本部および各委員会の平成28年度事業報告・決算報告と平成29年度事業計画・予算の説明を行いました。また、平成29年度役員について審議・決定した。さらに、各研究委員会より最近の活動状況等の報告を受けた。

2) 幹事会：平成29年6月21日（水） 北海道土木技術会会議室で開催

役員会に提出する平成28年度の実績報告および平成29年度の実績計画等について打ち合わせを行った。また、平成29年度事業のうち、「土木の日」協賛事業、会報の発行について打ち合わせを行った。

(2) 「土木の日」協賛事業

全研究委員会が参加して以下のとおり土木の日パネル展2017を実施した。

- ・開催月日 平成29年11月16日（木）～17日（金）
- ・開催場所 札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場（西）
- ・テーマ 「北の暮らしを支える土木」
- ・内 容 パネル展示、ビデオ上映、クイズ、リーフレット配布等

土木学会北海道支部 80 周年記念 HANDS+EYES パネル展と共同開催

・来場者数 1,093 人

(3) 北海道土木技術会会報

第 4 3 号を 1,555 部発行した。(平成 29 年 7 月 1 日)

(4) 平成 29 年度本部決算

「別紙-1」のとおり。

2. 平成 30 年度事業計画および予算

(1) 役員会および幹事会の開催

(2) 「土木の日」協賛事業の実施

全研究委員会の推薦者による実行委員会を立ち上げ、土木の日パネル展を実施する。

(3) 会報第 4 4 号の発行

(4) 平成 30 年度本部予算

「別紙-2」のとおり。

3. 平成 30 年度役員

平成 30 年度役員について確認した。

会 長	川 村 和 幸	荒井建設 (株)
副 会 長	上 田 多 門	北海道大学大学院
副 会 長	柳 原 優 登 (※)	土木研究所寒地土木研究所
研究委員会委員長 (鋼 道 路 橋)	松 本 高 志	北海道大学大学院
〃 (コンクリート)	杉 山 隆 文 (※)	北海道大学大学院
〃 (舗 装)	亀 山 修 一	北海道科学大学
〃 (ト ン ネ ル)	藤 井 義 明	北海道大学大学院
〃 (道 路)	萩 原 亨	北海道大学大学院
〃 (土 質 基 礎)	石 川 達 也	北海道大学大学院
〃 (建設マネジメント)	高 野 伸 栄	北海道大学大学院
幹 事 長	西 本 聡	土木研究所寒地土木研究所
幹 事 (鋼道路橋・幹事長)	加 藤 静 雄	(株) ドーコン
〃 (コンクリート・事務局長)	工 藤 浩 史	(株) ドーコン
〃 (舗 装・幹事長)	丸 山 記美雄 (※)	土木研究所寒地土木研究所
〃 (トンネル・幹事長)	蟹 江 俊 仁	北海道大学大学院
〃 (道 路・幹事長)	佐 藤 昌 哉 (※)	土木研究所寒地土木研究所
〃 (土質基礎・幹事長)	畠 山 乃 (※)	土木研究所寒地土木研究所
〃 (建設マネジメント・幹事長)	倉 内 公 嘉	北海道開発局
会 計 監 査 (ト ン ネ ル)	廣 長 周 治 (※)	(株) 大林組
〃 (ト ン ネ ル)	小 田 洋 明 (※)	清水建設 (株)

(※)は新任

平成29年度本部決算報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科 目	29年度予算額	29年度決算額	差引増△減額	備 考
前年度繰越	561,359	561,359	0	
事務局賦金	1,338,400	1,338,400	0	各委員会賛助会費の8%
				259,200（鋼道路橋）
				229,600（コンクリート）
				145,600（舗装）
				299,200（トンネル）
				73,600（道路）
				152,000（土質基礎）
				179,200（建設マネジメント）
雑 収 入	0	8	△ 8	預金利息
合 計	1,899,759	1,899,767	△ 8	

支出の部

（単位：円）

科 目	29年度予算額	29年度決算額	差引増△減額	備 考
会 議 費	70,000	39,600	30,400	役員会会場費
印 刷 費	230,000	209,925	20,075	会誌印刷費(1,555部)
通 信 費	5,000	690	4,310	送料
備 品 費	210,000	208,656	1,344	コピー機年間リース料
HP管理費	90,000	88,560	1,440	サーバー年間リース料
雑 費	30,000	1,080	28,920	送金手数料
事務局維持費	500,000	500,000	0	土木350,000 地盤150,000
土木の日行事費	200,000	92,000	108,000	パネル展会場借上費他
予 備 費	564,759	0	564,759	
合 計	1,899,759	1,140,511	759,248	759,248-△8=759,256(繰越額)

平成29年度北海道土木技術会本部会計について、関係書類の内容を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成30年5月30日

会計監査

長屋弘司

会計監査

後藤明雄

平成３０年度本部予算(案) (平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日)

収入の部

(単位：円)

科 目	29年度決算額	30年度予算額	備 考
前年度繰越	561,359	759,256	
事務局賦金	1,338,400	1,369,120	各委員会賛助会費の８％
			262,400 (鋼道路橋)
			243,200 (コンクリート)
			143,200 (舗装)
			308,800 (トンネル)
			73,600 (道路)
			155,520 (土質基礎)
			182,400 (建設マネジメント)
雑 収 入	8	0	預金利息
合 計	1,899,767	2,128,376	

支出の部

(単位：円)

科 目	29年度決算額	30年度予算額	備 考
会 議 費	39,600	70,000	役員会会場費
印 刷 費	209,925	230,000	会誌印刷費
通 信 費	690	5,000	送料
備 品 費	208,656	210,000	コピー機年間リース料
H P 管 理 費	88,560	90,000	サーバー年間リース料
雑 費	1,080	10,000	送金手数料他
事務局維持費	500,000	500,000	土木350,000 地盤150,000
土木の日行事費	92,000	200,000	パネル展会場借上費他
予 備 費	0	813,376	
合 計	1,140,511	2,128,376	

各 研 究 委 員 会 の 活 動 報 告

I. 鋼道路橋研究委員会（昭和 40 年 2 月設立 会員 298 名）

（委員長 松本 高志、副委員長 近藤 勝俊、細川 智之、幹事長 加藤 静雄、事務局長 池田 準）

1. 平成 29 年度事業報告

1-1 情報小委員会（小委員長 白石 悟）

1) ホームページの運営

鋼道路橋研究委員会ホームページの運営 URL <http://www.koudourokyo.net/>

①ホームページの更新 各小委員会、事務局等の活動報告等の定期更新

②技術発表会、講演会等の開催案内の掲載

鋼橋に関する技術発表会、講演会、見学会等の開催案内等の掲載。

③北海道鋼道路橋写真集の機能追加

HP内の「北海道鋼道路橋写真集」に以下の項目に関する検索機能を実装。

■検索項目 橋名、年度、橋梁形状、橋長、幅員、所在地

2) 幹事会の実施

第 1 回 幹事会（H29. 7. 24 パシフィックコンサルタンツ（株） 会議室 参加者 3 名）

・今年度の活動内容について ・ホームページの運営について

・講演会資料等の掲載について

第 2 回 幹事会（H30. 4. 5 パシフィックコンサルタンツ（株） 会議室 参加者 3 名）

・ホームページの更新について

1-2 設計仕様小委員会（小委員長 近藤 勝俊）

1) 幹事会の実施

日時：平成 29 年 9 月 15 日（金）

場所：㈱ドーコン 会議室 参加者 3 名

議題：今後の活動内容・情報交換等

2) 「積雪寒冷地におけるゴム支承の極限性能に関する共同研究中間報告会」および
ゴムのオゾン劣化に関する講演 について、小委員会として後援した。

日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）

場所：かでの 2. 7

議題：寒冷地域における加硫ゴムのオゾン劣化挙動 ゴム支承の低温剛性評価 等

1-3 歴史・写真集小委員会（小委員長 山中 重泰）

1) 写真集第 12 集発刊（平成 29 年 9 月）

2) 小委員会の実施

第 1 回 平成 29 年 10 月 27 日（金） ポールスター札幌 15:00～17:00

・平成 18 年度～平成 27 年度の発注橋梁実績取りまとめ。（8 名）

1-4 講習・講演小委員会（小委員長 室橋 秀生）

1) 小委員会

日時：平成 29 年 5 月 15 日（月） 16:30 ～ 17:30

場所：㈱開発工営社 会議室 出席者：17 名

議題：平成 29 年度活動計画

2) 技術見学会

日 時：平成 29 年 7 月 14 日（金） 13:30～16:30

見学コース：小樽 JCT・B ランプ橋、小樽西インターチェンジ・C ランプ橋

（発注：NEXCO 東日本 施工：川田工業）

参 加 者：45 名

3) 橋梁技術発表会及び講演会

日 時：平成 29 年 11 月 2 日(木) 13:00～16:50

場 所：北海道経済センター 8F Aホール

出席者：211 名

演 題：

(1) 橋建協報告 ～協会を取り巻く環境と課題、取り組みについて～

(一社)日本橋梁建設協会 広報委員会

(2) 技術発表-1【道路橋示方書はこう変わる】～部分係数体系版の改定内容～

(一社)日本橋梁建設協会 設計小委員会 設計部会 佐合 大氏

(3) 技術発表-2【大正時代のRC床版がどうして長期使用に耐えられたのか！】

～90年以上の使用に耐えた九年橋の撤去床版から劣化過程を探る～

(一社)日本橋梁建設協会 床版小委員会 床版技術部会 中本 啓介氏

(4) 技術発表-3【ロックンブリッジ脚を有する橋梁の大規模地震対策】

～名神高速道路 追分橋耐震補強工事～

(一社)日本橋梁建設協会 架設小委員会 架設部会 青山 智明氏

(5) 特別講演【鋼橋の今後の事業戦略を考える！】—観光資源としての橋梁—

ものつくり大学 教授 大垣 賀津雄氏

1-5 振動小委員会（小委員長 宮森 保紀）

1) 第1回小委員会

日 時：平成 29 年 5 月 25 日（木）

話題提供：

(1) 「2016年8月の豪雨災害における橋梁被害」

北見工業大学

宮森 保紀氏

(2) 「鋼橋の載荷試験結果報告」

(株)長大

高畑 智考氏

(3) 振動小委員会今後の活動方針

2) 熊本地震・九州北部豪雨視察

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震及び平成 29 年 7 月に発生した九州北部豪雨の視察により今後の北海道における災害復旧等に関する情報収集を目的として災害・復旧現場の視察を行った。

日 時：平成 29 年 9 月 12 日（火）～14 日（木）

場 所：豪雨災害箇所：大分県日田市～福岡県朝倉市

熊本震災箇所：阿蘇大橋、桑鶴大橋他、益城町断層位置

参加者：松本委員長、宮森小委員長、大久保委員、高畑幹事

1-6 技術調査小委員会（小委員長 西 弘明）

1) 情報収集

鋼道路橋に関する技術基準、情報化施工の現状について情報を収集した。

2) 土木の日パネル展への協力

土木の日パネル展 2017 の実行委員会への参加、パネル展一連の運営に関し協力を行った。

日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木）～17 日（金）

場 所：札幌駅前通地下歩行空間 キタサン HIROBA 西

1-7 維持管理小委員会（小委員長 長谷 淳二）

1) 維持管理に関する現状について情報収集を行った。

2) 上路式トラス等における格点部の腐食状況等に関する情報を収集した。

1-8 複合構造小委員会（小委員長 松本 高志）

1) 第1回小委員会

複合構造小委員会（講習会）を開催

日 時：平成 29 年 11 月 17 日（金）

場 所：北海道大学 工学部 土木工学研究棟 4階セミナー室

参加人数：19名

演 題：

1. 話題提供：鋼・コンクリート複合トラスエクストラード橋の設計と施工（40分）

川田建設株式会社 大澤 浩二氏

2. 話題提供：劣化因子の遮断を可能とした補修・補強材料の適用事例とその効果（50分）

（一財）災害科学研究所 研究員 三田村 浩氏

1-9 「土木の日」分科会（分科会長 松本 高志）

開催日時：平成29年11月16日（木）・17日（金）（2日間）10：00～19：00

場 所：駅前通地下歩行空間 キタサン HIROBA 西

タイトル：北の暮らしを支える土木技術 … 土木の日パネル展2017

主 催：北海道土木技術会

鋼道路橋・コンクリート・舗装・トンネル・道路・土質基礎・建設マネジメント7研究委員会

総入場者数：16日：555名 17日：538名 計1093名（2016年：695名/2日間）

1-10 事務局（事務局長 池田 準）

- 1) 平成29年度総会を開催した。

日時：平成29年6月7日（水）

場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌

特別講演 「長崎大学インフラ長寿命化センターの活動紹介 ～道守、光計測、
軍艦島3D計測、新しい橋梁点検法の開発、SIPインフラ技術の社会実装～」

長崎大学大学院 工学研究科 教授 松田 浩氏

- 2) 常任委員会（平成30年5月30日）を開催した。

- 3) 幹事会（平成29年7月12日）を開催した。

- 4) 橋梁技術発表会及び講習会を（平成29年11月2日）

（一社）日本橋梁建設協会と共催した。（詳細は講習講演小委員会参照）

- 5) その他

- ・総会議事録の送付及び決議事項を報告した。
- ・年会費を請求した。
- ・新年度委員の委嘱事務を行った。
- ・書籍の販売・配布を行った。
- ・鋼橋セミナーを支援した。（日本橋梁建設協会主催）

①北海学園大 平成29年7月6日

講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」（一社）日本橋梁建設協会 金子 修氏

②北海学園大 平成29年11月17日

講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」（一社）日本橋梁建設協会 渡邊 俊輔氏

③北見工大 平成29年7月24日

講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」（一社）日本橋梁建設協会 板垣 定範氏

④函館高専 平成29年12月12日

講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」（一社）日本橋梁建設協会 岩井 学氏

2. 平成30年度事業計画

2-1 情報小委員会（小委員長 白石 悟）

- 1) 鋼道路橋研究委員会のホームページの運営を行う。

・定期的な更新に加え写真集、資料編等の追加更新、講演会資料の掲載等を検討

- 2) 鋼橋に関する情報収集を行い、検討会を開催する。

・情報提供および検討会開催の企画

2-2 設計仕様小委員会（小委員長 近藤 勝俊）

- 1) 「北海道における鋼道路橋の設計および施工指針（平成 24 年 1 月）」の改訂について、方針の検討および改訂内容に関する企画を行う。
- 2) 鋼道路橋の基準改訂に関する情報交換と資料収集を行う。
- 3) これらに関する勉強会を 2 回程度開催する。

2-3 歴史・写真集小委員会（小委員長 山中 重泰）

- 1) 平成 29 年度の発注橋梁の実績調査を行う。
- 2) 平成 18 年度～平成 28 年度の発注橋梁実績取りまとめ。

2-4 講習・講演小委員会（小委員長 室橋 秀生）

- 1) 講習会・講演会、技術見学会を合計 2 回程度、会員の要望を反映して行う。

2-5 振動小委員会（小委員長 宮森 保紀）

- 1) 鋼道路橋の橋梁振動問題に関する最近の情報交換と資料収集を行う。
- 2) 鋼道路橋の耐震設計ならびに耐震性能について意見交換を行う。
- 3) これらに関する勉強会・講演会を開催する。

2-6 技術調査小委員会（小委員長 西 弘明）

- 1) 鋼道路橋に関する各種基準・規定や新技術について調査検討を行う。
- 2) 鋼道路橋の現状および新たな技術に関する勉強会を開催する。

2-7 維持管理小委員会（小委員長 河上 誠）

- 1) 維持管理に関する最近の話題と新技術等の資料収集を行う。
- 2) 維持管理に関する勉強会と情報交換を行う。

2-8 複合構造小委員会（小委員長 松本 高志）

- 1) 複合構造に関する最近の情報交換と事例収集を行う。
- 2) 複合構造の設計に関する勉強会を開催する。
- 3) 複合構造の維持管理・補修に関する勉強会を開催する。

2-9 「土木の日」分科会（分科会長 松本 高志）

北海道土木技術会として開催する「土木の日」に参加する。

2-10 事務局（事務局長 池田 準）

- 1) 出納事務を行う。
- 2) 書籍の販売を行う。
- 3) 常任委員会、総会の開催準備を行う。
- 4) その他
 - ・北海道土木技術会幹事会、役員会を支援する。
 - ・鋼橋技術研究会、九州橋梁構造工学研究会との交流（会報・論文集・研究報告書など受領）を図る。
 - ・海外研修の支援事務を行う。
 - ・研究支援を行う。
 - ・鋼橋セミナーの開催を行う。（平成 30 年 6 月～7 月）

- | | | | | |
|--------|-------------------|------------------|-------|-----|
| ①函館高専 | 出前講座 | 平成 30 年 6 月 18 日 | | |
| | 講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」 | | 川田工業 | 段下氏 |
| ②北海学園大 | 出前講座 | 平成 30 年 7 月 5 日 | | |
| | 講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」 | | 釧路製作所 | 大島氏 |
| ③北見工大 | 出前講座 | 平成 30 年 7 月 30 日 | | |
| | 講習テーマ：「鋼橋へのアプローチ」 | | 瀧上工業 | 種岡氏 |

Ⅱ. コンクリート研究委員会（昭和 29 年 12 月設立 会員 297 名）

（委員長 杉山 隆文、 副委員長 桑島 正樹・信太 一人・井上 雅弘、 事務局長 工藤 浩史）

1. 平成 29 年度事業報告

【運営に関する常設委員会】

1-1 企画小委員会（委員長 上田 多門）

1) 委員会活動について

- ・役員改選および名簿の見直し（案）について
- ・賛助会社の入会について
- ・ホームページの「北海道のコンクリート構造物」について
- ・平成 29 年技術発表会の計画について
- ・平成 29 年度の主な予定について

1-2 技術情報小委員会（小委員長 鷺尾 享）

室蘭工業大学の学生および一般参加者を対象とした現場見学会を開催した。また、土木の日協賛、北海道土木技術会主催「北の暮らしを支える土木 パネル展」に、他の研究委員会と共同で、平成 29 年 11 月 16 日（木）～11 月 17 日（金）に駅前通地下歩行空間憩いの広場においてパネル展示を行った。

- 展示パネル
- ・委員会代表パネル（W1500×H900）1 枚
 - ・コンクリート研究委員会 60 年の歩みパネル（W1500×H900）1 枚
 - ・個別展示パネル（W550×H850）5 枚

【維持管理 3 枚 ダムカードパネル 2 枚】

また、平成 29 年 7 月 4 日（火）に深圳大学 教授 ZHU Ji-Hua 様およびソウル国立大学 教授 CHO Jae-Yeol 様の講演会、平成 29 年 8 月 31 日（木）に「コンクリート・建設工学の新潮流」と題して日本サステイナビリティ研究所代表 工学博士 塚 孝司 様ほか 3 名の講演会を行った。

平成 29 年 11 月 21 日（火）には新しい企画として賛助会員による技術発表会を行った。

1-3 国際交流小委員会（小委員長 井上 雅弘）

平成 29 年度は国際交流 A（学生の渡航：国際会議への参加、発表）について 3 件、国際交流 D（訪日研究者の講演会）について 1 件の助成を行った。

- ① SMAR 2017, the fourth International Conference on Smart Monitoring, Assessment and Rehabilitation of Civil Structures で論文発表
- ② The 2017 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ASEM17) で論文発表
- ③ Concrete Institute of Australia, International Congress on Durability of Concrete (ICDI) で論文発表
- ④ ZHU Ji-Hua 教授と CHO Jae-Yeol 教授の講演会

1-4 コンクリート先端技術教育小委員会（小委員長 中田 泰広）

道内の土木工学系の学生に PC 技術あるいは PC の先端技術についてセミナーを開催。

- ・北海道科学大学（今野克幸教授、 7 月 20 日、7 月 27 日 49 名参加）
- ・北海道大学（佐藤靖彦准教授、講義の都合により中止）
- ・苫小牧高専（渡辺暁央准教授、11 月 7 日、11 月 14 日 45 名参加）

- ・室蘭工業大学（菅田紀之准教授、12月7日 24名参加）
- ・函館高専（澤村秀治教授、12月8日 34名参加）
- ・北海学園大学（高橋義裕教授、12月12日 51名参加）
- ・北見工業大学（井上真澄准教授、2月2日 68名参加）

1-5 インターネット小委員会（小委員長 ヘンリー マイケル ワード）
 コンクリート研究委員会の活動、行事などの情報をタイムリーに発信。
 HPのリニューアルおよび内容更新。英語版HPの更新。

1-6 技術支援小委員会（小委員長 工藤 浩史）
 平成28年度は、支援要請なし。

【コンクリート技術に関する常設委員会】

1-7 コンクリート橋小委員会（小委員長 近藤 勝俊）
 第7集発刊へ向け、掲載橋梁の情報収集。

1-8 設計仕様小委員会（小委員長 近藤 勝俊）

（1）WG1（積雪寒冷地特有の維持管理に配慮した設計WG）

平成24年の道路橋示方書改定により、今後ますます重要となる維持管理、点検性の向上を達成する橋梁が求められるなど、新たな要求事項に対応する構造細目や設計上の配慮などが必要と考え、WGを開催。開発局や北海道の要領で統一すべき事項に関する要望に基づき、基準レベルではなく参考資料のレベルで整理する。

（2）WG2（品質・高耐久化WG）

コンクリート構造物の品質・耐久性確保に関する全国の動向を把握し、北海道におけるコンクリート構造物の品質・耐久性確保のあり方について、産・官・学の立場で議論し、今後の方向性を提案することを目的とする。

平成29年度は、関連資料の内容・背景や全国の具体的な動向を把握することを目的に、WG内の情報交換、勉強会を主体に活動し、今後の北海道としての取り組み方について検討した。

1-9 コンクリート防災施設小委員会（小委員長 山中 重泰）
 活動休止中。

1-10 コンクリート維持管理小委員会（小委員長 菊地 康）

コンクリート維持管理小委員会は、北海道内のコンクリート構造物の効率的な維持管理と長寿命化を図ることを目的として、地域的な特性を考慮した点検・診断および補修・補強に関する技術開発、これらに従事する技術者の養成や技術力の向上を目指した活動を行っている。

平成25年12月には「北海道におけるコンクリート構造物の性能保全技術指針」を発刊して、現在は同指針の普及や啓蒙、および次期改訂に向けた活動を進めている。

また、官庁や財団などが主催する維持管理に関する講習会に講師を派遣している。

【コンクリート技術に関する期間限定委員会】

1-11 劣化したコンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会（小委員長 佐藤 靖彦）

本委員会は、鉄筋コンクリートの本質的な挙動を知るとともに、材料劣化がコンクリート構造物の構造性能に及ぼす影響について、その評価を可能とする技術や知識を習得することを目的としている。

平成 19 年度からの約 2 年間は、「材料劣化を考慮した構造性能評価に関する研究会」として材料劣化が生じたコンクリート構造物の性能評価技術の現状を理解し、また構造解析技術を利用するために必要な知識を習得することを目的として活動を行ってきた。当初の目的を概ね達成し、委員会としての活動を行うための下地が整ったものと判断して、平成 22 年度より委員会として活動を行っている。平成 26 年には、中間報告書を作成、平成 29 年度に最終報告書を作成し、活動を終了した。なお、報告書はホームページに掲載予定。

1-1-2 北海道における構造設計研究小委員会（小委員長 渡辺 忠朋）

本委員会は、北海道の地域特性に適したコンクリート構造物の構造形態のあり方を検討するとともに、構造物の性能を照査することを目的としている現状の技術基準には記載のない構造物の構造形態を創造する設計の視点で検討を行い、設計思想を「陽」な形で表すことを目的に活動するものである。具体的には、2つのグループに分けて、橋脚高さの異なる橋梁の試設計を行っている。以平成 29 年度は、全体委員会 3 回、WG 会議を 2 回開催した。

1-1-3 産業副産物起源のコンクリート用混和材に関する積雪寒冷地利用技術研究小委員会（小委員長 杉山 隆文）

環境負荷低減を目的に、コンクリート材料として、産業副産物起源の混和材が利用されている。主要な材料としては、高炉スラグ微粉末およびフライアッシュであり、それぞれコンクリート用混和材として、JISA 6206、JISA 6201 で規格化されている。そして、これらの材料は、コンクリート構造物の耐久性の確保、ひび割れ防止、施工性の向上などに有効である。北海道においても、高炉スラグセメントの利用や、特にダムコンクリートにおけるフライアッシュが利用されている。しかしながら、積極的な利活用までには至っていないのが現状であり、社会的意義を考えると、この状況を改善する必要がある。最近、そのための仕組みや技術的な解決策が図られているところであるが、高炉スラグ微粉末やフライアッシュの産地は限定されており、品質や運搬にかかる負荷も念頭に、流通の仕組みを構築する必要がある。本委員会では、低炭素社会の形成に寄与することを目指して、コンクリート用混和材を主体とした産業副産物起源の材料に対する有効かつ積極利用に資する寒冷地技術を研究する。

平成 29 年度は、全体委員会 3 回、主査会議を 4 回、WG1・2 をそれぞれ 4、5 回開催した。

1-1-4 平成 29 年度 総会

総会

日 時； 平成 29 年 5 月 31 日（水） 14：00～17：00

場 所； ホテルポールスター札幌 2F「コンチェルト」

出席者； 81 名出席

特別講演会

1. 国際会議への参加報告 北海道大学大学院工学院 ORASUTTHIKUL Shanya

2. 特別講演

「山口県発コンクリート構造物のひび割れ抑制・品質確保と過酷環境下での耐久性確保の実践」
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 准教授 細田 暁

2. 平成 30 年度事業計画

1 運営に関する委員会（常設）	
企画小委員会	・委員会活動活性化に向けた企画
技術情報小委員会	・技術発表会、講演会、見学会（一般、学生）、土木の日協賛事業の運営
国際交流小委員会	・国際交流に係わる「学生・国際会議助成」の募集 ・国際交流小委員会活動の活性化
コンクリート先端技術教育小委員会	・PCセミナーの実施（道内5大学、2高専） ・講演用模型の制作
インターネット小委員会	・HPの維持管理、更新。英語版HPの更新
技術支援小委員会	・北海道開発局への支援
2 コンクリート技術に関する委員会（常設）	
コンクリート橋小委員会	・「北海道のコンクリート橋」第7集の準備
設計仕様小委員会	・全体委員会開催 ・維持管理に配慮した設計WG、品質高耐久化WG
コンクリート防災施設小委員会	・当面、活動休止
コンクリート維持管理小委員会	・橋梁マネジメントセミナー講師 ・維持管理指針の地方講習会 ・活用事例の作成
3 コンクリート技術に関する委員会（期間限定）	
北海道における構造設計研究小委員会	・委員会開催 ・報告書作成
産業副産物起源のコンクリート用混和材に関する積雪寒冷地利用技術研究小委員会	・委員会開催 ・報告書作成

Ⅲ. 舗装研究委員会（昭和 55 年 5 月設立、委員数 121 名）

（委員長 亀山修一、副委員長 熊谷政行、角尾崇、幹事長 丸山記美雄、事務局長 安倍隆二）

1. 平成 29 年度事業報告

1-1 会議

1) 第 37 回通常総会（出席数 67 名）

日時：平成 29 年 6 月 8 日（木）15:00～

場所：ジャスマックプラザホテル

- 議題：・平成 28 年度 事業報告
・平成 28 年度 会計報告及び監査報告
・平成 29 年度 事業計画（案）及び収支予算（案）
・委員長の選任

2) 講演会及び活動報告会（出席数 70 名）

日時：平成 29 年 6 月 8 日（木）15:35～

場所：ジャスマックプラザホテル

講演及び活動報告

- （1）講演『舗装の維持管理に関する最近の動向』
『烏山頭ダムを訪ねて～八田與一をご存知ですか～』
（2）各小委員会 活動報告

1-2 幹事会

1) 第 1 回 平成 29 年 5 月 18 日（木）出席者 21 名

- （1）役員の変更について
（2）平成 28 年度 各小委員会の活動報告等について
（3）第 37 回通常総会等について
（4）その他

2) 第 2 回 平成 29 年 12 月 18 日（月）出席者 20 名

- （1）平成 29 年度 各小委員会の活動状況報告について
（2）その他

3) 第 3 回 平成 30 年 3 月 27 日（火）出席者 20 名

- （1）平成 29 年度 各小委員会の活動状況報告について
（2）本の出版について
（3）第 38 回通常総会の日程等について
（4）その他

1-3 小委員会活動

1) 技術基準小委員会（委員長 木村孝司、副委員長 高木広樹、斉藤昌之）

- （1）委員会の開催なし

- 2) 講演講習小委員会 (委員長 長屋弘司、副委員長 後藤明雄、鴨 智彦)
- (1) 土木の日パネル展への参加
 北海道土木技術会 土木の日パネル展 2017 (北の暮らしを支える土木技術)
 日 時：平成 29 年 11 月 16 日 (木) ~ 17 日 (金) (2 日間) 10 : 00 ~ 19 : 00
 場 所：駅前地下歩行空間 北 3 条交差点広場 (キタサン HIROBA)
 観覧者数：2 日間合計 入場者 1,093 名
- (2) 積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の設計と施工に関する講習会
 日 時：平成 29 年 11 月 27 日 (月) 13 : 30 ~ 16 : 50
 場 所：北海道科学大学 A 棟講義室 A106
 主 催：北海道土木技術会 舗装研究委員会
 プログラム：◇手引(案)の解説
 ◇路床・路盤の設計
 ◇コンクリート舗装の施工
 参 加：141 名
- (3) ヨーロッパの SMA 舗装の現状に関する講習会
 日 時：平成 30 年 1 月 31 日 (水) 13 : 30 ~ 16 : 00
 場 所：寒地土木研究所 1 階講堂
 主 催：北海道土木技術会 舗装研究委員会
 プログラム：◇ヨーロッパにおける SMA 舗装の現状、及び長寿命舗装について
 ◇世界各国における SMA の現状について
 参 加：57 名
- (4) 軽交通舗装の施工と補修指針に関する講習会
 【函館会場】
 日 時：平成 30 年 3 月 8 日 (木) 13 : 20 ~ 16 : 10
 場 所：サン・リフレ函館
 主 催：舗装研究委員会 軽交通舗装小委員会
 プログラム：◇軽交通舗装設計要領について
 ◇軽交通舗装の施工と補修指針について
 ◇資格試験から舗装工学について
 参 加：37 名
 【釧路会場】
 日 時：平成 30 年 3 月 22 日 (木) 13 : 20 ~ 16 : 10
 場 所：釧路市観光国際交流センター
 主 催：舗装研究委員会 軽交通舗装小委員会
 プログラム：◇軽交通舗装設計要領について
 ◇軽交通舗装の施工と補修指針について
 ◇資格試験から舗装工学について
 参 加：78 名
- 3) 技術史料収集小委員会 (委員長 佐々木博志、副委員長 佐々木寿彦、本田 俊)
- (1) 史料収集整理活動
 ①電子資料管理プログラム「SIRYO2010」の管理と更新
 ②過去 5 年分の資料の取りまとめと新たなデータベースの公開
 ③プログラムとデータベースに関する説明書の改訂
- (2) 舗装に関する広報活動
 ①「土木の日パネル展」に木塊舗装に関する史料の展示
- 4) 軽交通舗装小委員会 (委員長 細川智之 副委員長 市川聖芳、佐藤 巖)
- (1) 委員会開催日
 第 1 回委員会 平成 29 年 7 月 13 日 (木)

第2回委員会 平成29年9月12日(火)
第3回委員会 平成30年3月20日(火)書面開催

(2) 講習会の開催

「軽交通舗装の施工と補修指針に関する講習会」を函館と釧路で開催した

(3) 事例・質疑応答集の作成

5) 舗装マネジメントシステム小委員会(委員長 川村 彰 副委員長 石田正志、丸山記美雄)

(1) 委員会開催日

第1回 平成30年4月10日(火)

6) コンクリート舗装小委員会(委員長 川端伸一郎 副委員長 山中重泰、角尾 崇)

(1) 委員会開催日

第1回 平成29年9月25日(月)

(2) 手引き(案)の作成とホームページ掲載

「積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の設計・施工に関する手引き(案)」を作成し、北海道土木技術会舗装研究委員会および寒地土木研究所寒地道路保全チームのホームページに掲載

(3) 講習会の開催

「積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の設計・施工に関する手引き(案)」の講習会を札幌で開催した

2. 平成30年度事業計画

1) 技術基準小委員会(委員長 丸山記美雄 副委員長 高木広樹、斎藤昌之)

(1) 舗装の技術基準に関する課題の把握及び技術的検討

(2) 技術基準の最近の動向に関する情報交換及び会員への提供

2) 講演講習小委員会(委員長 長屋弘司 副委員長 後藤明雄、鴨 智彦)

(1) 各種舗装関連講演会等の共催参加

(2) 各種現場見学会の実施

(3) 土木の日パネル展2018への参加

(4) 関連書籍の販売促進

3) 技術史料収集小委員会(委員長 佐々木博志 副委員長 佐々木寿彦、佐藤瑞穂)

(1) 電子資料管理プログラム「SIRYO2010」のクラウドデータの共有と管理

(2) 収集した紙媒体資料等のPDF化作業の推進と資料の収集を継続

(3) 広報資料等の作成

4) 軽交通舗装小委員会(委員長 細川智之 副委員長 佐藤 巖、中谷 裕二)

(1) 普及活動として、「軽交通舗装の設計要領・施工と補修指針」等に関する講習会を実施

(2) 軽交通舗装に係る疑問点等の調査を実施し、事例・質疑応答集の拡充を図る

5) 舗装マネジメントシステム小委員会(委員長 川村 彰 副委員長 白戸義孝、広瀬史生)

(1) IRI等平坦性に関して、道内自治体管理道路における計測と聞き取り調査を実施

6) コンクリート舗装小委員会(委員長 川端伸一郎 副委員長 中山重泰、角尾 崇)

(1) 「積雪寒冷地におけるコンクリート舗装の設計・施工に関する手引き(案)」の広報活動

IV. トンネル研究委員会（昭和 60 年 11 月設立 会員 247 名）

（委員長 藤井義明、副委員長 桑島正樹、信太一人、伊藤康幸
幹事長 蟹江俊仁、事務局長 荒木雅紀）

1. 平成 29 年度事業報告

1-1 技術小委員会

1) TMS 分科会

(1) トンネルのロングライフ化に関する研究

- ・劣化度を知るための基礎資料収集（アンケート調査結果の整理）
- ・覆工コンクリートの施工方法資料収集（アンケート調査結果の整理）
- ・劣化状況の把握及び検討（システム化検討及び更新）

(2) 新素材断熱材に関する研究

- ・新発泡材断熱材についてのヒアリング
- ・現地吹付け試験
- ・現地温度計測機器の設置
- ・現地供試体の物理試験及び燃焼試験
※現地：バンゴベトンネル（2018.2.26 実施）

(3) 内部断熱材の算定式検証

- ・活動なし（北海道開発局トンネル設計要領委員会で掲載検討）

2) NATM 分科会

(1) NATM に関する資料の収集

- ・開発局発注の工事資料の整理（継続）
- ・北海道発注の工事資料の整理（継続）
- ・トンネルの施工資料（パンフレット）整理（継続）

(2) 北海道のトンネルに関連する論文の収集

- ・開発局における技術発表論文の整理（継続）
- ・土木学会トンネル工学研究発表論文・報告集に関する論文の収集（継続）

3) 新技術・台帳分科会

(1) 新技術・新工法 会報の紹介（62号・63号への掲載）

(2) 北海道の道路トンネル第6集(2013-2017 供用) 発刊に向けた準備作業

- ・対象トンネルリストの更新、データ収集
- ・収集済みデータのチェック作業
- ・全体構成・表紙写真・付録内容の方針検討、今後の編集方針について課題抽出

4) 会 議

(1) 小委員会：1回（事務局会議）

(2) TMS 分科会：1回、新素材断熱材現地試験1回

(3) NATM 分科会：1回、論文収集 WG 1回

(4) 新技術・台帳分科会：1回、事務局会議1回、各種 WG 4回

(5) 活動報告会：1回

(6) トンネル技術に関する講演会：平成 29 年 9 月 29 日 参加者 88 名、意見交換会 65 名

1-2 講習講演小委員会

1) 現地見学会

- ・日 時：平成 29 年 10 月 3 日(火)

・場 所：深川留萌自動車道 留萌市 バンゴベトンネル工事
(岩田地崎・堀口特定建設工事共同企業体)

・参加者数：見学会 50 名

2) 土木の日

・日 時：平成 29 年 11 月 16 日(木)～17 日(金)

・場 所：札幌駅前地下歩行空間 北 3 条交差点広場

・テ ー マ：「北の暮らしを支える土木」

・内 容：土木学会(土木コレクション)と合同開催(パネル展示など)

3) 2018 トンネル技術研究発表会

・日 時：平成 30 年 2 月 23 日(金) 10:00～17:00

・場 所：北海道大学学術交流会館

・特別講演：「最近かかわったトンネル関連技術と発想の転換による面白技術の紹介」
京都大学大学院工学研究科 教授 木村 亮

・研究発表：7 編

・参加人数：発表会 198 名 意見交換会 138 名

4) 会 議

(1) 小委員会：2 回

1-3 地方小委員会

1) 札幌地区委員会

日時；平成 29 年 10 月 19 日(木) 参加人員 13 名(札幌地区)

内容；現場見学会(小樽地区との共同開催) 北海道新幹線、後志トンネル落合工区

2) 小樽地区委員会

日時；平成 29 年 10 月 19 日(木) 参加人員 23 名(小樽地区)

内容；現場見学会(札幌地区との共同開催) 北海道新幹線、後志トンネル落合工区

3) 函館地区委員会

日時；平成 29 年 9 月 14 日(木)

内容；現場見学会 参加人員 83 名

函館新外環状道路 見晴トンネル工事、東山大橋工事

北海道縦貫自動車道 大沼トンネル避難坑 両坑口予定地

；意見交換会 参加人員 62 名

日時；平成 30 年 2 月 28 日(水)

内容；勉強会 参加人員 80 名

1. 大沼トンネル避難坑計測の現況報告

2. トンネル工事における ICT 技術の取り組み

；意見交換会 参加人員 74 名

4) 室蘭地区委員会

日時；平成 29 年 10 月 27 日(金)

内容；トンネル勉強会 参加人員 48 名

1. 東湖畔トンネル工事における現況報告

2. セントル用スマートセンサー型枠システム

3. 大狩部トンネル工事における現況報告

4. トンネル施工機械について

5. 覆工コンクリートの品質向上設備

- 5) 旭川・稚内・留萌・網走地区委員会
 日時；平成 29 年 10 月 3 日（火） 参加人員 17 名（旭・稚・留・網地区）
 内容；現場見学会（帯・釧地区、講習講演小委員会との共同開催）
 深川留萌自動車道 留萌市 バンゴベトンネル工事
- 6) 帯広・釧路地区委員会
 日時；平成 29 年 10 月 3 日（火） 参加人員 2 名（帯・釧地区）
 内容；現場見学会（旭・稚・留・網地区、講習講演小委員会との共同開催）
 深川留萌自動車道 留萌市 バンゴベトンネル工事
- 7) 事務局会議：1 回

1-4 事務局

- 1) 出納事務
- 2) 会報編集・発行 会報第 62 号、第 63 号編集・発行
- 3) 常任委員会 2 回開催 平成 29 年 5 月 31 日（水）、平成 30 年 1 月 25 日（金）
- 4) 定期総会 平成 29 年 6 月 7 日（水）
- 5) 企画運営会議 平成 30 年 1 月 15 日（月）
- 6) ホームページ管理 URL <http://tunnel-ceth.jp/>

2. 平成 30 年度事業計画

2-1 技術小委員会

- 1) TMS 分科会
 - (1) トンネルのロングライフ化に関する研究
 - (2) 新素材断熱材に関する研究
 - (3) 内部断熱材の算定式検証
- 2) NATM 分科会
 - (1) NATM に関する資料の収集
 - (2) 北海道のトンネルに関連する論文の収集
- 3) 新技術・台帳分科会
 - (1) 新技術・新工法の紹介（トンネル会報第 64 号、65 号への原稿提供）
 - (2) 北海道の道路トンネル第 6 集(2013-2017 供用) 発刊にむけた準備
- 4) 会 議
 - (1) 小委員会：1 回予定
 - (2) TMS 分科会：2 回予定
 - (3) NATM 分科会：2 回予定、WG 1 回予定
 - (4) 新技術・台帳分科会：2 回予定、事務局会議 1 回予定、各種 WG 6 回予定
 - (5) 活動報告会：1 回予定
 - (6) トンネル技術に関する講演会：1 回予定（平成 30 年 9 月 7 日）

2-2 講習講演小委員会

- 1) 現地見学会 日時・場所・内容は未定
- 2) 土木の日 日時・場所・内容は未定
- 3) 2019 トンネル技術研究発表会
 - ・日 時：平成 31 年 2 月 15 日（金）
 - ・場 所：北海道大学学術交流会館

4) 会 議

- (1) 小委員会：3回予定
- (2) 幹事会：1回予定

2-3 地方小委員会

- 1) 札幌地区委員会：現場見学会 小樽管内トンネル新設工事、小樽地区と合同開催
平成30年9月～10月予定
- 2) 小樽地区委員会：現場見学会 小樽管内トンネル新設工事、札幌地区と合同開催
平成30年9月～10月予定
- 3) 函館地区委員会：現場見学会 管内新設トンネル工事
平成30年9月予定
講演・勉強会 平成31年2月予定
- 4) 室蘭地区委員会：勉強会あるいは現場見学会 管内新設トンネル工事
平成30年10月予定
- 5) 旭川・稚内・留萌・網走地区委員会：勉強会あるいは現場見学会 管内トンネル新設工事
平成30年9月～11月予定
- 6) 帯広・釧路地区委員会：日時、内容未定 (他地区との合同開催を検討)
- 7) 事務局会議： 1～2回程度予定

2-4 事務局

- 1) 出納事務
- 2) 会報編集・発行： 施工中のトンネルリストの作成、会報第64号の編集・発行
- 3) 常任委員会：2回予定
- 4) 定期総会
- 5) 企画運営会議：1回予定
- 6) ホームページ管理
- 7) その他：事業計画外の対応 等

V. 道路研究委員会（昭和 29 年 6 月設立、個人会員 60 名、賛助会員 46 社）

（顧問：佐藤 馨一、

委員長：萩原 亨、副委員長：遠藤 達哉・伊藤 隆道、幹事長：佐藤 昌哉、事務局長：太田 隆文）

1. 平成 29 年度事業報告

1-1 調査研究

以下の調査研究成果を賛助会員に配布

1) (国研)土木研究所寒地土木研究所：『寒地道路研究グループ研究成果集』

2) 交通安全 WG：『北海道における効率的な除雪体制のあり方に関する研究』報告書

- ・雪対策事業の中でも運搬排雪に着目して、作業時間の長大化や膨大なコスト、ダンプトラックの確保の問題に対し、効率的な運搬排雪の作業体制のあり方を検討した。
- ・ダンプトラック、ロータリー車のプローブデータを用いて、ダンプトラックの台数による総所要時間についてシミュレーションを行った。その結果、所要時間に対して必要なダンプトラックの台数を示すことができた。

（報告書の構成）

1. 研究の背景と目的
2. 運搬排雪の作業時間の定式化
3. プローブデータによる運搬排雪の作業状況の解析
4. プローブデータを用いた運搬排雪モデル式の適用
5. おわりに

3) 道路管理 WG：『移動時間信頼性向上による便益推計に関する研究』報告書

- ・移動時間信頼性は交通施策による便益評価において重要な項目であることが認識されつつあり、その貨幣価値の設定が課題となっている。これに対し、時間価値推定モデルと同様に効用最大化問題の枠組みで、且つネットワーク構造を示した時間信頼性価値推定モデルが提案された。
- ・しかし、これらのモデルでは観測コストの高い O-D 交通量及び経路交通量を必要としていた。本研究では、観測コストが比較的低いリンク交通量のみを用いたモデルの運用方法を提案した。

（報告書の構成）

1. はじめに
2. ネットワーク上の変数
3. 時間価値・時間信頼性価値推定モデル
4. 最尤推定法の適用
5. 数値実験
6. まとめ

1-2 講習・講演会

1) 第1回講演会

- ・日 時：平成 29 年 6 月 20 日（火） 15：15～17：00 参加者：70 名
- ・場 所：北海道大学 工学部 オープンホール
- ・主 催：北海道土木技術会 道路研究委員会

(1) 『自動運転開発をめぐる国内外の動向と北海道の可能性』

講演者：日本政策投資銀行 北海道支店 次長 西山 健介 氏



図 講演会の様子

(2) 『GNSS を活用した自動走行技術の方向性～農業と除雪を例に』

講演者：北海道大学大学院 農学研究院 教授 野口 伸 氏



図 講演会の様子

2) 第2回講演会

- ・日 時：平成 29 年 11 月 13 日（月） 15：00～17：00 参加者：60 名
- ・場 所：北海道大学 工学部 フロンティア応用科学研究棟 レクチャーホール
- ・主 催：北海道土木技術会 道路研究委員会、北海道大学工学部建設管理研究室

(1) 『台風 10 号による高速道路の被害と復旧及び日勝峠通行止め時の対応』

講演者：東日本高速道路(株) 北海道支社 技術部 技術企画課長 池田 修 氏

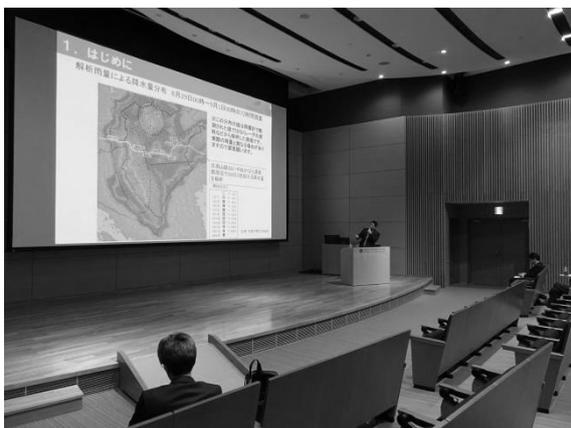


図 講演会の様子

(2) 『平成 28 年 8 月豪雨における国道被害及び国道 274 号日勝峠の復旧までの取組』

講演者：北海道開発局 建設部 道路維持課 道路防災対策官 林 憲裕 氏



図 講演会の様子

1-3 定期総会

日 時：平成 29 年 6 月 20 日（火） 14：20～15：00

場 所：北海道大学 工学部 オープンホール

議 題：平成 28 年度事業報告・会計報告、平成 29 年度事業計画・予算

1-4 委員会等

- 1) 委員会 (平成 29 年 6 月 20 日 (火) 13:30~14:00)
北海道大学 A 棟 A102 会議室
- 2) 幹事会 計 1 回開催

1-5 “土木の日” 協賛事業

- 1) 日程・場所：平成 29 年 11 月 16 日 (木)~17 日 (金)
札幌駅前通地下歩行空間 北 3 条交差点広場 (西)

2) 道路研究委員会の展示分

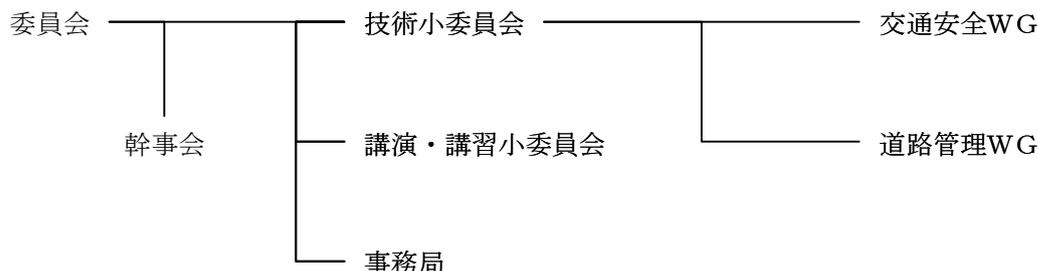
出展会員	展示品
北海道開発局	・北海道かけ橋カード
東日本高速道路	・高速道路リニューアルプロジェクト進行中 ・北海道横断自動車道 (余市~小樽間の事業概要)
札幌市 土木部	・「歩道バリアフリー」整備状況の紹介



図 パネル展の様子

2. 平成 30 年度事業計画

2-1 組織



2-2 調査研究

1) 交通安全 WG

<テーマ> 「北海道における効率的な除雪体制のあり方に関する研究」

- ・ 北海道大学大学院 工学研究院 北方圏環境政策工学部門 准教授 岸 邦宏 氏
- ・ 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地交通チーム

2) 道路管理（持続可能性検討）WG

<テーマ> 「移動時間信頼性向上による便益推計に関する研究」

- ・ 北海道大学大学院 工学研究院 北方圏環境政策工学部門 教授 内田 賢悦 氏
- ・ 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地交通チーム

2-3 講習・講演会（年間計画：年 3～4 回程度の講習・講演会開催予定）

- ・ まとめ役：(一社) 北海道開発技術センター 調査研究部 調査第二部長 大川戸 貴浩 氏
- ・ メンバー：北海道大学大学院 工学研究院 北方圏環境政策工学部門 准教授 岸 邦宏 氏
国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地交通チーム
総括主任研究員 平澤 匡介 氏
(株) ドーコン 防災保全部長 太田 隆文 氏

2-4 “土木の日” 協賛事業等

- ・ まとめ役：(株) ドーコン 防災保全部 グループ長 内藤 利幸 氏

※平成 30 年度 道路研究委員会 役員交代

- ・ 副委員長：遠藤 達哉
- ・ 委員：高山 博幸、高橋 丞二、大田見 拓、塩田 雅史
- ・ 幹事長：佐藤 昌哉
- ・ 幹事：井上 実、平澤 匡介

※平成 29 年度をもって退会した賛助会員：なし（平成 30 年度 賛助会員 46 社）

VI. 土質基礎研究委員会（昭和40年1月設立 会員357名）

（委員長 石川 達也、 副委員長 木幡 行宏、西本 聡、林 啓二
幹事長 畠山 乃、事務局長 小林 修司）

1. 平成29年度事業報告

- 1-1 事業小委員会（小委員長 林 宏親、幹事 原 靖）
- （1）講演会（総会時）『技術者倫理と仏道とを考える』：主催
 - ・講演者：(株)プラテック 札幌支店 技師長 日下部 祐基 氏
 - ・日時：平成29年5月22日 参加者63名
 - ・場所：ホテル札幌ガーデンパレス
 - （2）講習会『地盤改良セミナー 土を固めるセメント系固化材』：主催
 - ・日時：平成29年11月1日 参加者35名
 - ・場所：サン・リフレ函館
 - ・共催：国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所
一般社団法人セメント協会
 - （3）講習会『構造物基礎に関する技術講習会』：共催
 - ・日時：平成30年2月28日 参加者47名
 - ・場所：寒地土木研究所（講堂）
 - ・主催：公益社団法人地盤工学会北海道支部
- 1-2 技術小委員会（小委員長 小野 丘、幹事 佐藤 厚子）
- （1）第1回技術小委員会会議（平成29年6月27日，ドーコン 会議室）
 - ・土質基礎に関する技術検討，Q&A改訂版の発刊，技術小委員会の新たな活動の検討について打ち合わせた。
 - （2）第2回技術小委員会会議（平成29年8月3日，開発工営社 会議室）
 - ・第16回土質基礎に関する技術報告会「我が社の誇れる技術 Part2」，Q&A改訂版の発刊，見学会について打ち合わせた。
 - （3）第3回技術小委員会会議（29年9月7日（木），ドーコン 会議室）
 - ・Q&A助成金に関する臨時幹事会対応について，現場見学会と第16回技術報告会について打ち合わせた。
 - （4）第4回技術小委員会会議（29年11月17日，明治コンサルタント 会議室）
 - ・技術小委員会の活動（Q&A改訂版，見学会，臨時総会報告）について報告があった。
 - ・予算の減額についての報告があった。
 - ・第16回技術報告会について，印刷部数，当日の役割分担について打ち合わせた。
 - ・Q&A改訂について全員で照査した。
 - ・高橋委員による「カムクレイ系 FEM 解析による柔構造樋門検討事例について」の勉強会を行った。
 - （5）現場見学会の実施（道南方面）
 - ・日時：平成29年10月20日（金）～10月21日（土） 参加者14名
 - ・函館江差自動車道および函館外環状道路建設現場を見学した。
 - ・北海道新幹線（昆布トンネル）建設現場を見学した。
 - （6）第16回技術報告会（札幌 北大学術交流会館）
 - ・日時：平成30年2月16日 参加者74名
 - ・テーマ：土質基礎に関する「我が社の誇れる技術 Part2」
 - （7）Q&A集発行
 - ・「土質基礎に関するQ&A集」第1集（1993年）、第2集（1999年）のまとめとして、平成30年1月に、「土質基礎に関するQ&A集 追補改訂版」を発刊した。

1-3 調査研究小委員会（小委員長 川端 伸一郎、幹事 菅原 正則）

(1) 地盤工学に関する技術展示

- ・日 時：平成 29 年 11 月 16 日～17 日
- ・場 所：札幌駅地下歩行空間
- ・土木の日パネル展示の企画運営を実施した。

(2) 地盤工学に関する調査研究

1) 泥炭分科会（分科会長 林 宏親，幹事 西村 聡，他 13 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 6 月 9 日，北海道大学，参加人数 8 名）
- ・第 2 回分科会（平成 29 年 10 月 16 日，北海道大学，参加人数 7 名）
- ・第 3 回分科会（平成 30 年 2 月 21 日，北海道大学，参加人数 7 名）
- ・現場見学会（平成 29 年 7 月 19 日，参加人数 14 名（学生含む））
岩見沢市北村遊水地築堤サイト、真空ドレーン工法の見学と泥炭試料の採取

2) 凍上分科会（分科会長 川口 貴之，幹事 橋本 聖，他 14 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 7 月 20 日，北見工業大学，参加人数 14 名）
- ・第 2 回分科会（平成 29 年 10 月 26 日，釧路市民活動センター「わっと」，参加人数 11 名
平成 29 年 10 月 27 日，白糠町法面防災箇所現場見学）
- ・第 3 回分科会（平成 30 年 3 月 9 日，（株）ドーコン，参加人数 18 名）

3) 火山灰分科会（分科会長 川村 志麻，幹事 八木 一善，他 11 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 6 月 30 日，岩田地崎建設，参加人数 10 名）
- ・第 2 回分科会（平成 29 年 8 月 24 日午前，室蘭工業大学，参加人数 10 名）
- ・登別・洞爺 調査見学会（平成 29 年 8 月 24 日午後～8 月 25 日，参加人数 10 名）
- ・第 3 回分科会（平成 30 年 3 月 29 日，寒地土木研究所，参加人数 8 名）

4) 地盤防災分科会（分科会長 石川 達也，幹事 所 哲也，他 9 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 6 月 19 日，日本工営，参加人数 7 名）
- ・第 2 回分科会（平成 29 年 8 月 1 日，参加人数 9 名）
- ・第 3 回分科会（平成 29 年 9 月 6 日，北海道大学，参加人数 10 名）
- ・第 4 回分科会（平成 29 年 9 月 27 日～28 日，参加人数 4 名）
- ・第 5 回分科会（平成 29 年 11 月 9 日，参加人数 11 名）
- ・第 6 回分科会（平成 29 年 12 月 6 日～7 日，参加人数 4 名）
- ・第 7 回分科会（平成 30 年 4 月 12 日，参加人数 10 名）

5) 基礎構造分科会（分科会長 磯部 公一，幹事 江川 拓也，他 9 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 6 月 14 日，寒地土木研究所，参加人数 9 名）
- ・第 2 回分科会（平成 29 年 8 月 7 日，寒地土木研究所，参加人数 6 名）
- ・第 3 回分科会（平成 29 年 10 月 6 日，寒地土木研究所，参加人数 9 名）
- ・第 4 回分科会（平成 29 年 11 月 24 日，寒地土木研究所，参加人数 10 名）
- ・第 5 回分科会（平成 30 年 2 月 28 日，寒地土木研究所，参加人数 5 名）
- ・第 1 回現場見学会（平成 29 年 7 月 10 日，参加人数 13 名（内学生 6 名））
- ・第 1 回 WG（平成 29 年 9 月 20 日，寒地土木研究所，参加人数 5 名）
- ・技術講習会の開催（平成 30 年 2 月 28 日，寒地土木研究所，参加人数 47 名）

6) 環境地盤分科会（分科会長 佐藤 厚子，幹事 田本 修一，他 7 名）

- ・第 1 回分科会（平成 29 年 6 月 20 日，寒地土木研究所，参加人数 9 名）
- ・第 2 回分科会（平成 30 年 1 月 30 日，寒地土木研究所，参加人数 8 名）
- ・第 3 回分科会（平成 30 年 4 月 27 日，寒地土木研究所，参加人数 8 名）

1-4 事務局活動

(1) 幹事会（北海道大学 会議室）

- ・日 時：平成 29 年 5 月 15 日
- ・平成 28 年度事業報告および平成 29 年度事業計画について
- ・新役員および小委員会委員について

(2) 定期総会、講演会および懇親会（平成 29 年 5 月 22 日、ホテル札幌ガーデンパレス）

2. 平成 30 年度事業計画

2-1 事業小委員会（小委員長 林 宏親、幹事 原 靖）

(1) 講演会（総会時）

『これまでの海外研修旅行と第 21 回 ブルネイ・タイ研修旅行報告』：主催

- ・講演者：トキワ地研（株） 技師長 武田 覚氏
（株）アクアジオテクノ 技術部 部長 浮田 耕也氏

- ・日 時：平成 30 年 5 月 28 日
- ・場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

(2) 講習会『地盤改良セミナー ―地盤を固めるセメント系固化材―』：主催

- ・日 時：平成 30 年 10 月予定 釧路市
- ・共 催：一般社団法人セメント協会

(3) 講習会の共催

- ・地盤工学会北海道支部
- ・随時対応

2-2 技術小委員会（小委員長 渡部 要一、幹事 佐藤 厚子）

(1) 土質基礎に関する技術検討

- ・第 17 回土質基礎に関する技術報告会（テーマ未定）を企画運営する。
- ・技術力研鑽のための勉強会、および現場見学会を計画開催する。

2-3 調査研究小委員会（小委員長 川端 伸一郎、幹事 菅原 正則）

(1) 地盤工学に関する技術展示

- ・土木の日パネル展示の企画運営を行う

(2) 地盤工学に関する調査研究

1) 泥炭分科会（分科会長 林 宏親、幹事 西村 聡）

- ・分科会 3～4 回（札幌）
- ・現地研修会 1 回（札幌市内あるいは近郊）

2) 凍上分科会（分科会長 川口 貴之、幹事 松田 圭大）

- ・分科会 3 回（北見、釧路、札幌）
- ・第 2 回凍上分科会（釧路）にて現場見学会を実施予定

3) 火山灰分科会（分科会長 川村 志麻、幹事 八木 一善）

- ・分科会 3 回（札幌等）
- ・現地研修会 1 回

4) 地盤防災分科会（分科会長 石川 達也、幹事 所 哲也）

- ・分科会 3 回（札幌）
- ・現地研修会 3 回

5) 基礎構造分科会（分科会長 磯部 公一、幹事 江川 拓也）

- ・分科会 4 回（札幌、室蘭）
- ・現地研修会 1 回（道内、構造物基礎の施工現場など）
- ・パネル作成 WG 2 回（札幌）

6) 環境地盤分科会（分科会長 佐藤 厚子、幹事 田本 修一）

- ・分科会 3 回（札幌）
- ・現地研修会 1 回（札幌近郊、白石清掃工場、山本処分場など）

2-4 事務局活動

(1) 幹事会（北海道大学 会議室）

- ・日 時：平成 30 年 5 月 14 日
- ・平成 29 年度事業報告および平成 30 年度事業計画について
- ・新役員および小委員会委員について

(2) 定期総会、講演会および懇親会（平成 30 年 5 月 28 日、ホテル札幌ガーデンパレス）

Ⅶ 建設マネジメント研究委員会(平成13年11月設立 会員218名)

(委員長 高野伸栄 副委員長 山越明博 砂子邦弘 幹事長 倉内公嘉 事務局長 玉木博之)

I 平成29年度 活動報告

1. 会議等の開催

1-1 平成29年度拡大常任委員会の開催

日時：平成29年5月19日(金) 16:00～

場所：(一社)北海道開発技術センター

- 議題 ①第17回(平成29年度)通常総会・講演会のスケジュールについて
②通常総会議案書(案)について
③小委員会の活動報告資料について
③災害対応調査WG設立等
④その他

1-2 平成29年度通常総会の開催

日時：平成29年6月15日(木) 14:30～

場所：ホテルマイステイズ札幌アспен アспенA

参加会員数：84名

- 議題 ①通常総会議案書(案)について
②小委員会の活動報告資料について
③災害対応調査WG設立等
④その他

1-3 講演会(通常総会と共催)

- ・平成29年6月15日総会後の講演会

「復興需要と地域建設業の挑戦」

講師 深松 務 氏 株式会社 深松組 代表取締役社長

日時：平成29年6月15日(木) 16:00～17:30

場所：ホテルマイステイズ札幌アспен アспенA

参加人数：92名

1-4 「地域建設産業活性化」等に関する意見交換会・講演会

当委員会では、次代の地域建設業を担う若手経営者による道内各地域の「建設二世会」との意見交換会・講演会が一通り終了したことから、平成29年度より、建設関連産業の活性化を目標に、関係する諸団体との交流並びに意見交換への取り組みを検討し、平成29年度に上川地域の測量調査設計業の若手で構成する「道北若力会」との折衝を進め、平成30年度事業として6月12日に実施することを決めた。

2. 各小委員会の活動

4つの小委員会、2つのワーキンググループにおいて以下のテーマについて調査・研究等を行った。

2-1 公共調達・生産システム小委員会(講演会の開催2回)

平成29年度は、有識者を招いた講演会を2回開催した。講演会の参加者は、小委員会メンバーに限らず、建設マネジメント研究委員会メンバー全体に加え、さらに道内地方自治体へも参加を呼びかけた。開催概要は以下のとおり。

(1) 第1回講演会

日時：平成29年12月21日(木) 15時30分～17時30分

場所：ホテルマイステイズ札幌アспен アспенA

参加人数：80名

御講演：「CIMと建設マネジメント」

熊本大学 大学院先端科学研究部 小林 一郎 特任教授

(2) 第2回講演会

日時：平成30年2月2日（金）15時00分～17時40分

場所：ホテルマイステイズ札幌アспен アспенA

参加人数：88名

記念講演：「i-Construction 大賞 国土交通大臣賞を受賞して」

株式会社 砂子組 真坂 紀至 企画営業部長（兼）ICT施工推進室長

御講演：「建設技術者・技能者の生きがいについて」

高知工科大学 経済・マネジメント学群 渡邊 法美 教授

2-2 公共調達・生産システム小委員会 技術継承WG（WGの開催3回）

今後の業界全体の課題である若手技術者の確保と共に安全・品質低下を防止するための「技術継承」についてどの様に推進して行くかが喫緊の課題となっている。当WGは、この内「技術継承」問題について平成28年10月から活動を開始し、平成29年度は会員企業へのアンケートを実施。結果を基に業種別、規模別の技術継承の方法や内容の特徴を分析するとともに、仮称「技術継承読本」の作成に向け、WG内での意見交換等を実施した。

WGの開催

- ・ 第一回WG（平成29年9月11日）：配布アンケートの内容や配布先の検討
- ・ 第二回WG（平成29年11月30日）：アンケート集計結果と処理方法の検討
- ・ 第三回WG（平成30年2月27日）：アンケート分析結果と読本作成の検討

2-3 公共調達・生産システム小委員会 災害対応調査WG（WGの開催2回）

平成28年8月豪雨災害時の対応や、その後の復旧工事にあつた建設会社、調査会社、コンサルタント、行政等の実務者から当時の状況を調査し、地域の建設業等の役割の重要性を確認するとともに、災害対応の困難性を検証した。

WGの開催

- ・ 第1回WG（平成29年11月2日）
アンケート調査結果の紹介、平成28年8月豪雨災害時対応について聞き取り
- ・ 第2回WG（平成30年1月29日）
平成28年8月豪雨災害時対応について聞き取り、課題整理

2-4 民間活力推進小委員会（小委員会の開催3回）

北海道の公共施設整備への民間活力推進を目的に、民間の資金や能力を活用した事例をもとに、勉強会・研究会の一環として以下の活動を行った。

- ・ 第1回（平成29年7月12日）
道内の一般廃棄物最終処分場整備・運営事業における民間活力の導入の経緯や事業の概要について調査並びに情報を交換した。
- ・ 第2回（平成29年11月10日）
東北の復興道路事業促進PPPの現状と展望について、実際に従事している西松建設様からPPPの今後の活用と北海道での導入の可能性等について、情報提供を受け、意見交換を実施した。
- ・ 第3回（平成30年3月8日）
平成30年度国土交通省PPP/PFI推進のための案件募集開始に関する情報提供。
平成30年3月に設立した北海道メンテナンスフォーラムとの連携事業の可能性検討と、参加自治体の公共施設管理計画の現状と問題等について情報提供を行った。

2-5 建設経営小委員会（小委員会開催2回）

地域の建設業者を対象とした人材確保育成に関する研究の一環として、外国人技能実習生等の

戦力や将来担い手の採用増につながるような「採用・人材確保育成に関するユニークな取組事例」について調査を実施した。

結果、下記4事例について理解を深めることができた。

・第1回（平成29年10月12日）

「働き方改革に係る社内取組事例について」

①（株）岸本組 岸本 友宏 代表取締役社長

②ハラダ工業（株） 藤野 徹弥 代表取締役

・第2回（平成30年3月20日）

③「ICT活用における、働き方改革・人材育成の側面について」

（株）砂子組 真坂 紀至 企画営業部長（兼）ICT施工推進室長

④「外国人技能実習生の受け入れに関して」

（株）田端本堂カンパニー 田端 千裕 代表取締役社長

2-6 インフラメンテナンス小委員会（小委員会開催1回 講演会開催2回）

平成29年度は、有識者を招いた講演会を2回開催した。講演会の参加者は、小委員会メンバーに限らず、建設マネジメント研究委員会メンバー全体にも参加を呼びかけた。開催概要は以下のとおり。

（1）第1回講演会

テーマ：舗装の維持管理に関する最近の動向

講師：北海道科学大学工学部都市環境学科 亀山 修一 教授

日時：H29年10月11日 16時～

場所：Dec 4階大会議室

参加人数：20名

（1）第2回講演会

テーマ：鋼道路橋の維持管理

講師：北海道大学大学院工学研究院 松本 高志 教授

日時：H30年3月13日 16時～

場所：Dec 4階大会議室

参加人数：24名

3. ホームページの更新及び掲載

委員会名簿、各小委員会活動状況の報告書、総会、講演会等内容について、3回更新を実施。

4. 「土木の日」協賛事業

北海道土木技術会主催の土木の日パネル展2017「北の暮らしを支える土木」（平成29年11月16日～17日 札幌駅前通り地下歩行空間北3条交差点広場で開催）に当研究委員会のパネル展示。（土木学会のパネル展も同時開催）

建設マネジメント研究委員会として7枚のパネルを展示し、この機会を通じ、建設マネジメントのプロセスと建設マネジメント研究委員会の取組を紹介した。



建設マネジメント研究委員会
パネルの展示

Ⅱ 平成30年度 事業計画

5. 会議等の開催

5-1 平成30年度拡大常任委員会の開催

日 時：平成30年5月21日（月）

場 所：（一社）北海道開発技術センター

議 題 ①第18回（平成30年度）通常総会・講演会のスケジュールについて
②通常総会議案書（案）について
③小委員会の活動報告（案）について
④その他

5-2 平成30年度総会の開催

平成30年度の総会は下記日程で開催。

日 時：平成30年6月22日（金） 14:30～16:00

場 所：ホテルマイステイズ札幌アスペン 「アスペンA」

5-3 講演会の開催

平成30年6月22日（金）の総会後に実施するほか、各小委員会等で年度内の適宜実施を検討。総会の講演会は下記のとおり。

日 時：平成30年6月22日（金） 16:00～17:30

場 所：ホテルマイステイズ札幌アスペン 「アスペンA」

講演テーマ： 建設人材の確保・育成における取り組み
～富士教育訓練センター 開校20周年を迎えて～

講 師：職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 専務理事 菅井 文明 様

〒418-0101 静岡県富士宮市根原字宝山 492-8

概 要：

「富士教育訓練センターは開校20周年を迎え、現在年間の訓練生が10,000人、また企業数が5,000社を超えるようになりました。その20年の教育訓練で大切にしていることは、若者がこの業界で仕事をやっていこうという「動機付け」をすることです。

どれだけそういった思いにさせ修了させるかがこのセンターのテーマでした。まず1番に取り組んだことは教育訓練を行って戴く講師の「発掘」でした。現場で汗をかいて仕事をしてきた職人を集めることに注力を注いだのです。この職人の先生方の過去の経験が人づくりの現場で大きな使命を果たしてくれました。またそのような経験の中で、ものづくりへの「思いと感動（ハート）」、ここに人づくりの原点があることを知りました。

ここで生まれた言葉が「ものづくりは人づくり」です。」

富士教育訓練センターにおける「建設人材の確保・育成における取り組みについて」ご講演をいただきました。

6. 各小委員会の事業計画

研究活動としては以下に記述の4つの小委員会と、2つのワーキングを基本体制として継続した調査・研究を行う。

6-1 公共調達・生産システム小委員会

平成30年度も講演会等を企画・実施し、公共調達や建設生産システム全般に関する意見交換と情報提供及び研究の場とする。講演会等は2回を予定する。

6-2 公共調達・生産システム小委員会 技術継承WG

平成30年度は、仮称「技術継承読本」の制作に向け、各企業で実施している技術継承ツール

の事例を収集するなど、引き続き各委員と意見交換を行い、具体的に読本製作の作業を進める。今年度の活動方針は以下のとおり。

- ① 技術継承方法について引き続き、WGにて議論を行う
- ② 技術継承に必要な事項についての小冊子（読本）の制作に向けた検討を進める

6-3 公共調達・生産システム小委員会 災害対応調査WG

平成29年度にWGを立ち上げ、検討を開始。

「豪雨災害対応アンケート」集計分析結果を踏まえ、実際にそれぞれの立場で災害対応に当たった行政、民間事業者等から

- ① 地域の建設業及び建設関連業の災害対応での働きを調査し、地域の建設業及び建設関連業の役割の重要性を発信
- ② 災害対応の困難性を検証
- ③ どのような建設業及び建設関連業が地域に必要なのかを再認識等を検討を継続し、情報や検討内容を発信していく。

WG開催は、3回を予定

6-4 民間活力推進小委員会

北海道の公共施設整備における民間資金や能力を活用するPFI・PPP事業の事例研究と導入の可能性について、以下の調査・研究を行う。

- ① 民間活力導入事例の調査・研究を継続する
 - ・ 福島の都市復興事業における「CM」の導入事例を調査し、北海道での導入の可能性について研究する。
 - ・ 道内での新たなPFI事業について調査・研究し、その事業評価をまとめる。
- ② インフラメンテナンス国民会議「北海道フォーラム」（昨年3月設立）との連携による社会資本の維持管理・更新事業への民活導入の調査・研究を行う。
 - ・ 道内自治体がまとめた「公共施設総合管理計画」の状況調査・分析などを行う
 - ・ 導入の可能性について調査・研究する。
- ③ 国土交通省が先導するPPP/PFI手法の開発・普及等の情報提供を行う
- ④ 民間活力推進事業の視察を行う
 - ・ PPP/PFIやCMなどの先進的な事例箇所について視察調査を行う。

6-5 建設経営小委員会

建設業及び建設関連業との情報交換、意見交換等を始め、勉強会、講習会といった活動を継続するとともに、採用増や人材育成、働き方改革につながるような具体的な活動を目指すこととし、下記のような継続的な活動を進めていく。

- ① 「建設業の人材確保・育成に関する実態調査」の結果から導き出される、効果的な人材確保・育成のあり方についての研究
- ② 地域の技術者育成の取組みに、持続性を持たせることに有効な具体的な支援策の検討
- ③ 地域の技術者育成のための会議等への参加と働き方改革に取り組む企業との意見交換
- ④ 上記に係る報告書の作成

6-6 インフラメンテナンス小委員会

社会基盤施設の維持管理に関する研究の一環として、今年度も引き続き、以下の活動を行う。

- ① 道内のインフラメンテナンスの充実に資する情報収集・提供を引き続き行う
- ② そのための情報収集の一環として、外部講師による講演会を引き続き企画・実施する
- ③ 講演会で得た情報の、建マネ会員へのフィードバック方法についても検討する

7. 地域建設産業活性化等に関する支援事業（意見交換会・講演会等）。

(1) 道北若力会との意見交換会

平成30年6月12日、旭川市において、道北若力会と意見交換会・講演会を実施

日 時 平成30年6月12日 午後3時00分～午後5時30分

場 所 トーヨーホテル 旭川市7条通り7丁目32-13

参加人数 道北若力会 26名 建マネ関係8名 計34名

① 道北若力会

・田上会長より 道北若力会について

1) 活動報告

・高桑副会長 より 道北若力会の活動について（測量体験学習事業）

・山根副会長 より 道北若力会の活動について（冬まつり除雪体験イベント事業）

・石田副会長 より 道北若力会の活動について（研修事業）

2) 災害業務

・原幹事、佐々木委員 より

・沼倉委員、高橋委員 より 災害業務事例紹介（全3例）

② 建設マネジメント研究委員会

・高野委員長 より 建マネ活動の意義

・倉内幹事長 より 建設マネジメント活動について

・建設経営小委員会 縄田小委員長 より

「働き方改革」に向けた地域企業の取組みについて

・災害対応調査WG 島多座長 より

災害対応における測量、調査の課題とあり方について

③ 質疑応答・意見交換・総括

・進行役 建設マネジメント研究委員会 荒木正芳 幹事長代理 （情報提供）

担い手の確保・定着対策について活発な意見交換



意見交換の全景

さらに、同様の建設関連団体にある青年部や二世会等の若手技術者との意見交換会・講演会を引き続き進めていく。

8. 広報活動

ホームページの充実と各小委員会の活動報告の継続的掲載の実施。

9. 土木の日協賛事業

北海道土木技術会の「土木の日パネル展」に協賛し、当委員会として参画する。パネルの選定・作製については、各小委員長等が協議して、訴求力のある研究テーマを取り上げる。

10. その他

会員相互の交流を図る。